

平成17年度 一般財源研究費傾斜的研究費(全学分)研究報告書

研究テーマ [①大都市の課題解決につながる研究]

研 究 課 題 名	民間企業に学ぶ病院経営における高信頼性と経営効率の両立のマネジメント	
研究者または研究代表者名	所属部局名	職 名
桑田 耕太郎	首都大学東京 都市教養学部 経営学系	教授
研究分担者名	部局名・所属研究機関名	職 名
森本 博行	首都大学東京 都市教養学部 経営学系	教授
宮下 清	首都大学東京 都市教養学部 経営学系	教授
松尾 隆	首都大学東京 都市教養学部 経営学系	准教授
水越 康介	首都大学東京 都市教養学部 経営学系	研究員
研究実績の概要 (600～800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。)		
本研究は、民間企業に学ぶことによって、病院経営における高信頼性と経営効率の両立のマネジメントのあり方について調査・研究することを目的として行われた。今日、病院とは、経営効率はもとより、社会から極めて高い信頼性を求められている組織である。にもかかわらず、多くの病院組織では、民間企業と比較しても、いまだその経営効率、信頼性ともに優れているとはいえない。環境の不確実性が増しつつある近年、高い信頼性を獲得しつつ、かつ優れた経営効率を上げることのできる組織のあり方を考察することは極めて重要な課題である。そこで本研究では、優れた民間企業における高信頼性と経営効率を両立させたマネジメントを調査・研究し、その知見を病院経営に生かすことによって、現在の病院経営の質を大きく向上させ、社会的価値を高めることを目的とする。 研究分担者である松尾は顧客ニーズ対応の戦略プロセスを調査し、そのプロセスを明らかにした。宮下は、組織のプロフェッショナル化に関する調査を進め、その理論枠組みの精緻化を試みた。森本は、マネージドケアの経営効率化のための考察を行い、その方策を明らかにした。そして、研究代表者である桑田と水越は、東京都都立病院を対象と対象とした実証的調査を行い、現状におけるリスクマネジメントのあり方を明らかにするとともに、民間企業に関する研究から得られた知見を応用することの重要性を提示した。 これらの研究成果は、東京都病院管理本部へ实际的な提言としてまとめられ、報告書として提示される予定である。すでに、プレゼンテーションを行い社会への成果還元を行っており、高い評価を得ている。 なお、これらの研究を遂行するにあたり、研究費は効率的、かつ効果的に運用された。		

研究発表 [雑誌論文発表、図書、学会発表等]

著者（講演者）	論文題目（発表題目）	発表誌（発表大会名）	年月
桑田耕太郎	病院経営における高信頼組織のあり方について	東京都病院経営研修	2006年2月
宮下清（共）	日米企業における知識の創造マネジメント	国際ビジネス研究学会全国大会	2005年10月
宮下清	ホワイトカラーの職務能力と公的資格	日本労務学会誌 (pp. 15-27)	2005年10月
宮下清	技術系人材育成に関する考察－先進企業の事例に基づいて－	人材育成学会年次大会	2005年12月
森本博行	「東アジアの自動車産業の発展と国家の役割」	小林英夫編『東アジア部品産業のグローバル連携』文眞堂	2005年6月
森本博行	「東アジア諸国の産業政策と日本企業の戦略的行動の進化－自動車企業を事例として」	国際ビジネス研究学会年報2006	2006年近刊